

お別れ会に向き合う時間をとってくださったあなたへ

イベントを初めて開催する方も、何度も経験している方も、

どなたにとっても、イベントの企画・運営は

時に難しく、時に大きなやりがいを感じるものです。

CRAZY CELEBRATION AGENCY から

7つの質問をギフトさせていただきます。

時間をかけて作ったイベントをより良い機会にするためには

イベントのスタート地点と、プロセスがとても大切だと考えています。

この質問に答える時間が、理想の景色に近づくプロセスになりますように。

**CRAZY
CELEBRATION
AGENCY**

7つの質問

1

お別れ会のリーダーはどなたですか？

2

それぞれ（下記）の仕事を任せられる方はいますか？

①会場選定・渉外 ②コンテンツ考案・スケジュール作成 ③お客様連絡窓口 ④資料作成・物品手配 ⑤当日運営責任者 ⑥予算管理

3

お別れ会を開催しようと思ったきっかけは何ですか？ この場をどんな時間にしたいか考える原点に立ち返ってみましょう

4

故人は、どんな方でしたか？ 性格や大切にしていることは何でしたか？

5

故人は、どんな人生を歩まれてきましたか？

6

どんな人たちがこの場に集まると良いでしょうか？

7

集まった方へ、伝えたいメッセージは何でしょうか？

質問の意図

1

スムーズなイベント制作進行において、意思決定者を明確にすることは重要です。
多くの人が関わるイベントでは、多くの意見が出ます。後からどんでん返しを起こさないためにも、リーダーを最初に決めておきましょう。

2

イベントを一人でつくりあげるのは至難の業です。どんなシンプルなイベントも一人で取り組まず、まずは仲間を集めましょう。
幹事様の仕事は、様々な役割の人々を取りまとめることが望ましいです。仲間と迎えるイベント当日はきっとかけがえのない一日になるでしょう。

3

難しく考える必要はありません。後から変わってもいいので、できるだけ心の声に耳を傾けましょう。

4

当日どんな一日にするのかを考える一歩として、まずは故人のパーソナリティを思い返すことから始めましょう。

5

当日の雰囲気の具体的なイメージを深めていくことで、自ずと当日のコンテンツやタイムスケジュールが見えてきます。

6

故人のことに想いを馳せたら当日集まるゲストについても考えてみましょう。

7

自分自身が伝えたいメッセージでも構いませんし、故人だったらきっとこんなメッセージを伝えたいだろうと想像したことで構いません。